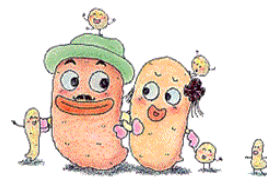


湯戸飛夜いけいけだよ



Jinen Joe family

記事:

- “定期総会を開催しました”
- ～戸田駅開設100周年～「第15回いけいけフェスタ」を開催します！
- 「茶摘み」を楽しみました
- 「戸田駅の環境整備」で表彰されました
- 「戸田駅の思い出」…防府市華城の大磯正徳さん
- 戸田駅の待合室に花を届け続けて60年戸倉さんに表彰状
- シリーズ名所旧跡めぐり…夜市の「鷹飛原八幡宮」
- 自然薯で「緑のカーテン」づくり
- お知らせ

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先;
(0834)63-3770
(神本)まで

発行 西徳山まちづくりの会

“定期総会を開催しました”

平成23年4月16日(土)午後3時から“とれたて市場”「ゆーとぴや」前のいけいけ広場で西徳山まちづくりの会の平成23年度総会が、周南市長、地元市議員、連合自治会長、支所長等を来賓に迎え、盛大に開催されました。

総会終了後は、新鮮な海の幸や野菜のバーベキューに舌鼓を打ち、楽しく夢を語らい、会員の懇親を深めました。

総会では、去る3月5日に公表した西徳山ウソップ物語「湯戸飛夜(ゆーとぴや)基本構想」Part II 及び3ヵ年活動方針を基本に、今年度の活動方針と活動計画を決定しました。

【活動方針と計画】

- 1 戸田駅を中心とした活動を継続する
 - ①西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する(戸田駅開設100周年記念事業)
 - ②「いけいけフェスタ」を継続開催する
- 2 「西部道の駅」を拠点とした活動に新たに取り組む
 - ①地元の食材を活用した特産品を積極的に開発する
 - ②加工品を直売所で販売し実績をつくる



熱心に討議する皆さん

- 3 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む
 - ①“観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す
 - ②“花の駅”を目玉にした新しい活動を企画する
- 4 交流・研修・広報活動に取り組む
 - ①研修旅行、見学会の定期開催
 - ②セミナー、交流会の企画開催
 - ③会の活動を広く周知していただく広報活動を行う
- 5 組織を充実し拡大する
 - ①NPO法人化
 - ②会員増強
- 6 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する
 - ①西徳山の他組織との連携
 - ②行政との連携及び提案
 - ③他団体との連携

西徳山まちづくりの会では、今後この計画に則って、住民主体のまちづくり活動を行政と協働しながら進めていきます。



総会の後はバーベキューで懇親

～戸田駅開設100周年～ がんばろう日本！ 心をひとつに 「第15回いけいけフェスタ」を開催します！

今年(2011年)3月1日に開設100周年を迎えた戸田駅のお祝いとして、記念行事をしようと考えた私たちは、実行委員会を組織して行事の内容について検討を始めました。

なるべく盛大にするためには、第15回西徳山いけいけフェスタと同時に開催するのが一番良いという結論に達しました。

そして、JR と協議をしたり、他の駅の周年事業を参考にしたりして、開設100周年が私たちの住む西徳山にとって、活力の素になり、良き思い出となるように奮闘しております。

案として出ているのをいくつか挙げてみましょう。

- 思い出の戸田駅写真展
- 一日駅長を任命する
- 記念植樹、モニュメント、タイムカプセルの設置
- 鉄道博士によるお話
- 記念切符の

販売など

その他にも楽しいアイデアがたくさん出ています。今年のいけいけフェスタは戸田駅の100周年と一緒に。なんだかワクワクしてきて、待ち遠しくなっています。

10月9日(日)は、戸田駅にとっても、私たちが住む西徳山にとっても特別な日。今から予定を入れずに確保しておきましょう。

実行委員会では戸田駅並びに戸田駅周辺、または西徳山(夜市・戸田・湯野)の街並みの懐かしい思い出の写真を探しています。お持ちの方はご一報いただければと存じます

連絡先 080-1947-9747 (酒井)

「茶摘み」を楽しみました 西徳山まちづくりの会 特産品加工部会



皆で摘んだお茶

♪夏も近づくハ十八夜～♪ は少し遅れましたが、11人の茶摘み娘ではなく、茶摘みお婆さんは湯野農園に出かけました。1時間たっぷりお茶の葉を摘み、早速公民館でお茶づくり。蒸して、あついあついと揉みました。部屋の中は、何とも言えないお茶の香りでいっぱいです。乾燥はそれぞれのお家ですることにし、とても美味しいお茶が出来あがりました。ビタミンCたっぷりですますます磨きの掛った茶摘みお婆さん達を見てください。

私達は、スギナ茶も作りました。カルシウムが多いと人気です。これからは、どくだみ茶にも挑戦します。

「戸田駅の環境整備」で表彰されました

西徳山まちづくりの会では平成8年より 戸田駅周辺の環境美化運動「花いっぱい活動」を15年間継続実施しています。周辺の定期的清掃や花の育成はもとより、雑草を利用した堆肥作りにも取り組み、地区住民からも感謝され、花いっぱい賞が賞讃されています。

このたび推薦を受け、6月3日(金)平成23年度周南市徳山環境衛生連合会会長表彰(団体の部)を受賞しました。

私たちの地道な活動を見て下さる人がいたことも嬉しいのですが、この小さな活動が今後少しずつ大きな輪になって拡がり、「わがまちをわが手で

作りたい、守りたい」と考える多くの人々と一緒に活動をしていきたいと願っています。

これからもすばらしい仲間たちと頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



表彰状を受け取る河井環境部長

「戸田駅の思い出」

防府市華城郵便局長さんに寄稿していただきました！

この度、戸田駅が100周年を迎えるとのこと、地域の皆さまの思い出もひとしおとお慶び申し上げます。私も人生50年を迎え、戸田駅のちょうど半分の年齢となりました。実は、年数だけでない繋がりが私にはあります。

現在私は、防府華城(ほうふはなぎ)郵便局に勤務しています。郵便局に入る前は、国鉄に勤務していました。今から約27年前(S59年～60年)は、この戸田駅にお世話になっていました。当時は駅長以下12名の職員が交代制(24時間勤務)、1日4名で仕事をしていました。少人数の職場であり、良き上司・先輩に囲まれ、厳しさの中にも、あたたかく家族的な雰囲気のある職場でした。小規模な職場とはいいいもので、地域の皆さまとの「ふれあい」が大規模な職場と比べ多分にあり、当時若輩者である私にも色々、声をかけていただきました。

私が勤務している現在の職場も局長以下4名。地域の皆さまに支えられながら日々務めています。ここでもやはり、「地域の皆さまとのふれあい」は、最も重要な事のひとつと考えています。私の原点は「戸田駅」と言っても過言ではないかもしれません。

思い出と言えば、当時の駅長が、列車が到着する度に「へた～へた～」と放送がかかり「ん？」と思ったと言われていました。私も同様な思い出でしたが、慣れれば我が家に帰ってきた気分で心地よい響きとなりました。また、老若男女を問わず、よくあいさ



勤務中の大磯さん

つをしていただきました。朝の「おはよう！」夕方の「こんばんわ・お疲れさま！」すばらしい言葉です。

国鉄の合理化で昭和60年3月には、日中の職員1人体制、夜間・早朝は無人駅となり私も徳山駅へ転勤となりました。わずか1年程度の勤務でしたが数々の思い出が頭をよぎります。私も最近、戸田駅に立ち寄ることは、ほとんどなく、これを機にたまには懐かしい駅舎を見に行きたいと思います。

地域に愛され親しまれた「戸田駅」。これからも地域の皆さま方で新しい歴史を刻んでいかれることをお祈り申し上げます。

大磯正徳さん 記

戸倉さんに表彰状 戸田駅の待合室に花を続け続けて60年 平成23年度周南市徳山環境衛生連合会会長表彰(個人の部)



取材に伺いたい旨を電話でお願いすると、「取材なんて」とやんわり断られるが、「お話に来られるのならいつでもいらっしやい。」とのことなので、二人で御宅まで押しかけました。

話の中でも「表彰なんて」と謙遜をされ、「お弟子さんがいたから続けられたことですよ」と奥ゆかしく話をしてくださいました。

「この季節は、活花の材料が無くて大変です。紫陽花もすぐに枯れてしまいます」と苦労話も伺いました。

私たちの西徳山まちづくりの会も、団体の部で受賞しました。戸倉さんと私たちは花つながりということになります。戸倉さんは駅の中、私たちは駅の外で一緒に花の駅にしていきましょう。取材のご協力ありがとうございました。

西徳山まちづくりの会

編集後記

「戸田駅を夜市に置くと
は戸田の下手なり」1892
年(明治25年)生まれで、
90才で亡くなった私の祖
父から聞いた歌です。こん
なのもありました。「布団
は短し夜は長し尻から風
が福川の宿」昔の人のユ
ーモアには驚かされます。
言葉あそびとかそういった
頓智が冴えわたっています。

そんな時代に戸田・夜市
両村はじめ計6村が開設
を請願しました。駅名は最
有力村の戸田にすなり
決まったそうですが、戸田
村の有力者が土地の提供
を渋り、村境の夜市側に
なったと言われています。
このため駅は集落から孤
立し、駅職員は周辺にうど
ん屋一つないとぼやいた
とか…。

「金も百才・銀も百才
戸田駅も百才」平成の今
に生きる凡人はちょっと昔
のテレビの受け売りのこん
な言葉しか出ません。

編集長 神本康雅

発行責任者

会 長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-

tokuyama.gn.to

シリーズ「名所・旧跡めぐり」

たかとばら

夜市の「鷹飛原八幡宮」

応神天皇・仲哀天皇・神功皇后・三女神・武内宿禰が祭神とされています。始まりは古く、奈良時代以前と伝えられています。神功皇后が豊前宇佐八幡宮勧請のおりに、今の夜市地域に金色の鷹が飛来し、村人がその地に石室を造りまつたことが始まりと言われています。その後も有力者に大切に守られ、今日に至っています。

社宝として、「八幡縁起絵巻上下各一卷」「八幡宮御神像六駆」があり、それぞれが市指定文化財となっています。御神像のうち、女神坐像はヒノキの堅一材からの丸彫りで、制作は鎌倉時代、神功皇后と伝えられています。絵巻は、室町時代の制作とされ、神功皇后が新羅出兵をして宮殿に帰着するまでの物語が描かれています。中国地方で、現存している八幡縁起絵巻として唯一のものとなります。



自然薯で「緑のカーテン」づくり 花いっぱい運動

5月21日 戸田駅隣の道の駅直売所で、緑のカーテンづくりのために自然薯のたねいもの植え付けがされました。

当日は、南陽幼稚園の園児10名が「しゅうなんマイスター」である村田将弘さんの指導で植え付けを実施。

たねいものこぶを見て「怪獣みたい!」「早く緑の葉がでるといいね」「いもほりもしたい!」と話していました。

環境にやさしい取り組みのひとつです。



自然薯の植え付けを手伝ってくれた南陽幼稚園の園児たち

お知らせ

西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月1日および16日の19:30から夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。